

美術やものづくり体験への参加や共有を通して社会との繋がりづくり

特定非営利活動法人岡山高等学院

活動の目的

学校生活や、社会生活のなかで孤立感をもつ子ども、若者が、年齢や立場の関係なく美術体験を共有することで、自分を受け入れてくれる居場所を確保することができる。また、いきなり人と話すのがむずかしいと感じる当事者が、作品を通して、他者に自分自身を開示するきっかけとなる。

「つながる美術体験活動」として「合同作品製作会」を年間を通して、月1回の頻度で開催する。会場は、岡山市、倉敷市を中心に県内各地で開催することで、参加者の活動範囲を拡げるとともに、県北の雪景色や、県南の海辺、吉備路や後樂園など、岡山県内各地を知るきっかけになる。各開催時に参加者の交流を図る。

活動の内容及び経過

【合同作品制作会／絵】

- ・ 6月22日 半田山植物園
- ・ 7月7日 余慶寺
- ・ 9月30日 吉備津彦神社
- ・ 10月14日 サウスヴィレッジ

【合同作品制作会／染色】

- ・ 8月16日 さくとう山の学校

【個別での作品製作】

若干名

【作品発表】

- ・ 11月17日～23日 つながる美術展、作品発表会
- ・ 2月19日 作品集発行64ページ200部

活動の成果・効果

合同作品制作会では、水彩画、鉛筆画、アクリル絵の具や色鉛筆を用いて絵を描く。染色体験では、美作にて、檜の樹皮を用いて布の染色をする。6日間の展覧会には100名以上が来場し、うち41名から感想をもらった。参加者自身も準備、受付に参加し、来場者に作品の説明をする場面も見られた。

体験発表会では、16名が自身の体験を発表した。

「つながる美術体験作品集2020」を発行し、参加21名それぞれの絵画作品と染色の様子、その他展覧会での感想や、作業風景の写真を掲載した。

うち、17名分の感想を記載。作品集にまとめる作業のなかで、参加者の新たな気持ちを知ることができた。

活動参加者自身の、絵を描くことへの積極性はもとより、その日、絵を描いたり、布を染めるために集まり、さまざまな人と一緒に活動に参加することや、他の参加者が自身の作品を見ること、他の参加者の作品を自身が見ることを



染色体験の様子



合同作品制作会の様子



合同作品制作会の様子



作品集の表紙

通して、コミュニケーションや連帯感が生じ、それぞれの参加者の自信に繋がっている。

今後の課題と問題点

合同作品制作会や、個別での作品製作を通して、参加者が絵を描いたり、布を染めること以外に興味があるものを知る機会がある。動画や写真、小説や音楽、プログラミングや手芸、調理など、強い興味があるが、今までやっていない分野へ挑戦していたり、既に自身で工夫して取り組んでいる様々な作品についても、美術体験の発表と同じく、発表することのできる場があれば良いと考える。

- 代表者：木村浩輔 ●所在地：岡山市北区野田屋町
- TEL：086-221-3350 ●E-MAIL：o.h.gakuin@gmail.com
- URL：http://o-h-gakuin.info/
- 設立年：2017年 ●メンバー数：18名